

## 一般社団法人 日本森林学会 2015(平成 27)年度事業計画

- (1)「日本森林学会誌」の発行:2015年4月,6月,8月,10月,12月および2016年2月の年6回発行し,科学技術振興機構のJ-STAGEで公開する。
- (2)「Journal of Forest Research」の発行:2015年4月,6月,8月,10月,12月および2016年2月の6回発行する。
- (3)「森林科学」の発行:2015年6月,10月および2016年2月の年3回の発行を行う。
- (4)「日本森林学会メールマガジン」の発行:第58号(2015年3月)~第69号(2016年2月)を発行する。
- (5)ウェブサイトの更新:ウェブサイト更新を随時行い,最新情報を掲載する。大会ページの視認性・わかりやすさを更に高める。
- (6)第126回日本森林学会大会の開催:2015年3月26~29日に北海道札幌市(北海道大)において「第126回日本森林学会大会」を開催し,「第126回日本森林学会学術講演集」を発行する。
- (7)第127回日本森林学会大会の開催準備:「第127回日本森林学会大会」(2016年3月27~30日:日本大学)の開催を準備する。また,ウェブ登録システムによる大会発表申し込み等の受付をウェブサイト上で行う。
- (8)第128回日本森林学会大会の開催準備:鹿児島大学に所属する会員の中から大会運営委員長を委嘱し,大会運営委員会を設置する。
- (9)第129回日本森林学会大会の開催準備:応用森林学会に共催および大会担当機関の推薦を依頼する。
- (10)日本森林学会各賞の選考および日本農学賞等への推薦:日本森林学会賞,日本森林学会奨励賞,日本森林学会学生奨励賞,日本森林学会功績賞,Journal of Forest Research論文賞,日本森林学会誌論文賞,第126回日本森林学会大会学生ポスター賞の選考,および日本農学賞,日本農学進歩賞等への推薦を行う。
- (11)学会活動の活性化:会員拡大,ウェブサイトやメールマガジン等による広報活動,および連携学会・他学会・外部機関との連携強化を通じて,学会活動の活性化に努める。
- (12)社会への広報活動:第125回および第126回日本森林学会大会におけるシンポジウムの記録をウェブサイトで公開する。
- (13)男女共同参画の取り組み:第127回日本森林学会大会における男女共同参画事業を企画し,準備を進める。男女共同参画学協会連絡会の活動に参加して,情報交換に努め,学会のウェブサイトやメールマガジンを通して情報提供に努める。
- (14)JABEE(日本技術者教育認定機構)への協力:JAFEE(森林・自然環境技術者教育会)の基幹的な学会として,JABEEやJAFEEの活動・運営に協力するとともに,関連学協会との連携を図ることにより,森林分野の技術者教育の向上を進める。CPD(技術者継続教育)事業の推進に協力する。森林・林業人材育成のためのシンポジウムを開催する。引き続き森林・林業技術者教育の動向について発信するとともにJABEEの普及に努める。
- (15)他学会との連携:各連携学会(北方森林学会,東北森林科学会,関東森林学会,中部森林学会,応用森林学会,九州森林学会)大会を共催し,役員の派遣を通じた交流を行う。「日本森林学会と日本木材学会との交流に関する覚書」に従い,木材学会と交流する。また,木材学会・土木学会とともに「木材の利用拡大に関する横断的研究会」を運営する。日本農学会の運営に協力する。
- (16)学術シンポジウム等の開催・広報:他学会・外部機関との交流を含め活動する。第127回日本森林学会大会における公開シンポジウムの準備を進める。
- (17)国際学術交流の推進:東アジアをはじめとする諸外国との国際的学術交流を進める。
- (18)日本学術会議等への協力・連携:社会連携委員会は,当学会に関する情報発信を積極的に行う。日本学術会議および森林・木材・環境アカデミーの活動に協力する。日本学術会議連携委員会の社会連携委員会委員への就任により,さらに連携を深める。
- (19)国内研究機関連携の推進:国内研究機関間の研究情報交換の実態把握のために,森林学会の会員動向調査を続ける。国内研究機関,特に地方研究機関の意識調査を行う。
- (20)各種補助金の申請:科学研究費補助金研究成果公開促進費「研究成果公開促進費(国際情報発信強化,学術図書,データベース)」の「国際情報発信強化(B)」および「研究成果公开发表B」に応募申請する。
- (21)他機関等からの賞,奨励金等の候補の推薦:ウェブサイト,メールマガジン等により公募し,候補者を推薦する。
- (22)学会運営の改善:財政の健全化への取組を継続し,電子メールを活用し,会議費や通信費を節約する。
- (23)林業遺産の選定:2015年度日本森林学会総会において,2014年度に選定された林業遺産を発表する。本年度の林業遺産候補の推薦公募を行い,審議・選定活動を行う。

**(24)中等教育との連携:**第 126 回日本森林学会大会において高校生のポスター発表を実施し,良かった点や課題等整理をする。実施体制についても,再検討する。2015 年度大会における高校生ポスター発表の実現に向けて活動する。行動計画に基づき,他の連携の可能性を議論し,計画する。

**(25)代議員および理事・監事候補選挙:**2016 年 5 月から 2018 年 5 月を任期とする代議員および理事・監事候補選挙を行う。